

本学の最新予定とトピックス

文京学院大学では、教員陣の研究成果や、「本郷キャンパス」「ふじみ野キャンパス」で行われるイベント予定、最新トピックスなど、報道関係者向けにさまざまな情報を発信しています。

			実施場所
1	保健医療技術学部の上田泰久助教が医療関係者向けDVDで頸椎へのアプローチについて実技指導・解説	3月1日(火)	—
2	発達障がい・知的障がい児の療育活動支援として学生サークルがイースターパーティーを開催	3月26日(土)	ふじみ野キャンパス (埼玉県ふじみ野市)
3	自閉傾向がある子ども達の療育活動支援 学生が子どもと一緒に万華鏡制作やお花見を実施	3月26日(土)	ふじみ野キャンパス (埼玉県ふじみ野市)
4	学生が1年かけて取り組んできた産学連携事例を発表 日本最大級のアニメイベント「AnimeJapan 2016」へ出展	3月26日(土)～27日(日)	東京ビッグサイト (東京都江東区)

保健医療技術学部の上田泰久助教が医療関係者向けDVDで 頸椎へのアプローチについて実技指導・解説

3月1日(火)

本学保健医療技術学部の上田泰久助教は、3月1日(火)にジャパンライム株式会社より出版された医療関係者向けのDVDソフト「頸椎の機能解剖と臨床応用 ～頸椎の病態運動から展開する評価とアプローチ～」にて、実技・解説役として出演しました。上田助教は理学療法学科の担当教員で、頭頸部に対する理学療法(頭痛・頸部痛・上肢痛を改善させる対処法)を専門としています。

頸椎は、胸郭・脊柱との関係も深く、姿勢やアライメント、運動連鎖からみる病態の解釈は非常に重要ですが、頸部は機能解剖が複雑で分かりづらく、周囲には重要な神経・血管が走行しているため、アプローチに苦手意識を持つセラピストの方も少なくありません。

上田助教が出演するDVDでは、頸椎の機能解剖とリスク管理、頸椎疾患の特徴的な姿勢・動作、運動連鎖を考慮した上行性および下行性のアプローチ、関節面の適合を改善させる局所的アプローチなどについて解説しています。医療関係者の理学療法知識を深め、日々の臨床に活用してもらうことを期待しています。なおDVDには、実技協力として上田助教と同じく保健医療技術学部の布施陽子助手も出演しています。



保健医療技術学部
上田泰久助教

発達障がい・知的障がい児の療育活動支援として 学生サークルがイースターパーティーを開催

3月26日(土)

文京学院大学地域連携センターBICS に所属する学生サークル「ピーターパン」は、3月26日(土)、本学のふじみ野キャンパスで「レッツ！イースターパーティー」を開催します。

「ピーターパン」は、発達障がい・知的障がい児の療育活動支援を目的に活動する学生サークルです。月に1回、地域で暮らす4歳児から18歳までの発達障がい児・知的障がい児に対し、大学に招いて遊び場をサポートするなどの療育活動を行っています。

今回は、保護者からの依頼に応え、3月のイースター(復活祭)にあわせたパーティーを企画しました。学生40名と、地域の障がい児15名とその保護者が参加予定です。当日はイースターに絡め、午前中に牛乳パックや紙コップを使った工作として「びよんうさぎ」を製作し、午後は小体育館で卵にちなんだレクリエーションなどを行います。

日時：3月26日(土) 10:00～15:00

会場：ふじみ野キャンパス(埼玉県ふじみ野市亀久保 1196)



これまでの活動の様子

自閉傾向がある子ども達の療育活動支援 学生が子どもと一緒に万華鏡制作やお花見を実施

3月26日(土)

文京学院大学地域連携センターBICS に所属する学生サークル「ビスケット」は、3月26日(土)、本学のふじみ野キャンパスで活動を行います。

「ビスケット」は、自閉傾向のある子どもたちの療育活動支援を目的に活動する学生サークルです。月1回、地域で暮らす自閉症児を大学に招いて遊び場をサポートし、サークルに所属する学生は自閉症の支援方法を学んでいます。

今月は、万華鏡の製作やお花見会を行った後、1年間の活動の締めくくりとして、修了式を行います。学生45名と、地域の自閉症児24名が参加予定です。

日時：3月26日(土) 10:00～15:00

会場：ふじみ野キャンパス(埼玉県ふじみ野市亀久保 1196)



これまでの活動の様子

学生が1年かけて取り組んできた産学連携事例を発表 日本最大級のアニメイベント「AnimeJapan 2016」へ出展

3月26日(土)～27日(日)

本学経営学部コンテンツ・マーケティング専攻の学生が組織するAnimeJapan 2016 学生実行委員会は、3月26日(土)～27日(日)、一般社団法人アニメジャパンが主催し、経済産業省などが後援する日本最大級のアニメイベント「AnimeJapan 2016」に出展します。

日本のコンテンツは「クールジャパン」として海外からも高い評価を受け、海外展開で大きな成長が見込める産業として国の重要戦略にも位置付けられています。しかし、コンテンツ産業は、コンテンツを創造するクリエイターだけでは成立せず、それを商用化し、制作現場に還元するプロデューサーがいて初めて産業として成り立ちます。そこで本学では経営学部にて「コンテンツ・マーケティング専攻」を設置し、コンテンツの立案・制作から権利処理・プロデュースに至るまで、トータルで行える人材の育成、輩出を目指した教育を推進しています。

学生が手がけたコンテンツをビジネスに利用しやすい環境だからこそ、本学では産学連携に積極的に取り組んでいます。本学にとって、今回で10回目の出展となる「AnimeJapan 2016」では、学生が1年間かけて取り組んできた産学連携の活動を発表します。埼玉の伝統的な人形工芸技術と学生のアイデアを融合させて高級眼鏡置きを開発し、代官山蔦屋書店での販売に至った事例や、学生が「トルコと日本の友好」をPRするための活動事例などを紹介予定です。

日時：3月26日(土)～27日(日)

会場：東京ビッグサイト(東京都江東区有明 3-11-1)



これまでの活動の様子



昨年のプレゼンテーション